

令和3年10月8日

保護者様

令和3年度全国学力・学習状況調査の実施結果について（概要）

基山町立基山小学校
校長 福山 信代

今年の5月27日(木)に全国の国・公・私立学校の小学校第6学年と中学校第3学年を対象に、「令和3年度全国学力・学習状況調査」が実施されました。今年度分の調査結果の概要をまとめましたのでお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1. 調査の目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

【生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査】

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面、新型コロナウイルス感染症等に関する調査

【教科に関する調査（国語、算数・数学）】

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な問題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

3. 生活習慣や学習環境等に関する調査結果の概要

(1) 特に良い傾向が見られる主な項目

- ・「毎日、同じくらいの時刻に起きている」 95.3% (全国平均 90.4%)
- ・「人が困っているときは、進んで助けている」 93.0% (全国平均 88.7%)
- ・「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができている」 80.0% (全国平均 70.3%)

他にも、「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」、「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」等全国平均と比較して、良い傾向がみられる項目がありました。

(2) 課題が見られる主な項目

- ・「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか。」 43.5% (全国平均 52.4%)
- ・「携帯電話・スマートフォン・コンピュータの使い方について家の人と約束したことを守っている」 65.9% (全国平均 70.1%)

他にも、「学校に行くのは楽しい」、「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」等全国平均と比較して、課題がみられる項目もありました。

【生活習慣や学習環境等に関する調査の結果より】

起床時刻や就寝時刻など、各ご家庭で生活のリズムを整えてくださっているおかげで、子供たちが元気に学校で過ごすことができている。そのことが、困っている友達を助けたり、難しいことにも挑戦したりする力になるなど、心身の健全な成長につながっています。

一方で、子供たちの登校や学習に対する意欲に課題があることが分かりました。そこで、主体的に学ぶことができる授業や、友達との心の距離を縮めるためのICT機器を取り入れた学習スタイルを構築し、「明日も行きたい学校」づくりをさらに推進していきたいと考えています。

4. 教科（領域）ごとの調査結果の概要

教科に関する調査の結果〔正答数〕

	国語〔14問〕	算数〔16問〕
基山小学校	9.6問	11.6問
佐賀県	9.0問	11.0問
全国	9.1問	11.2問

(1) 国語の調査結果概要について

- ・国語全体については、県・全国平均より高い。
- ・「漢字を文の中で正しく使うこと」や「文中の主語と述語の関係を捉えること」については、県・全国平均と比べて相当高い結果となった。
- ・「書くこと」は、県・全国平均と比べて、相当高い結果となった。
- ・問題文の中で用いられた資料の読み取りに課題がみられる。

(2) 算数の調査結果概要について

- ・算数全体については、県・全国平均より高い。
- ・面積を求める問題と道のりの差を求める問題の正答率は、県・全国平均と比べて相当高い結果となった。
- ・全体として、無回答率が低く、粘り強く思考し続けたことが分かる。
- ・商が1より小さくなるわり算や、速さと道のりをもとに時間を求める式を考える問題などに課題がみられる。

【教科の調査結果より】

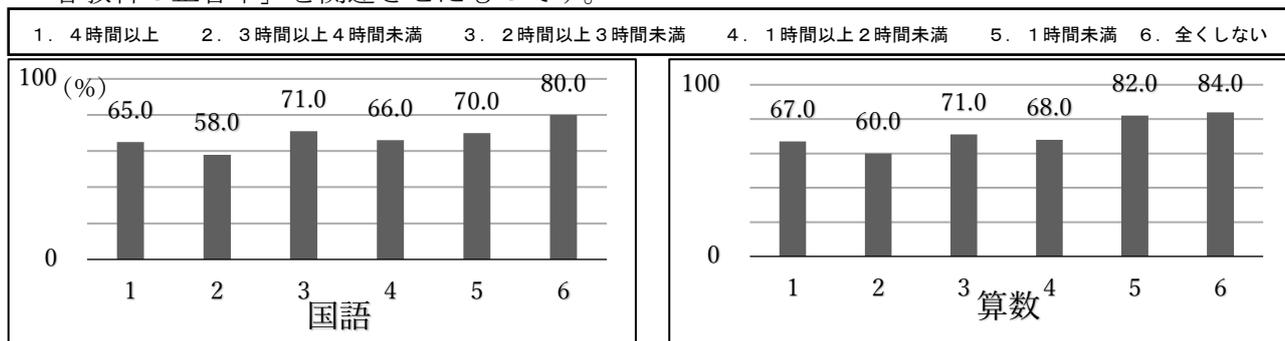
家庭学習がんばり週間の実施や学習指導の工夫等により、子供たちに「粘り強さ」が身に付いてきていることが分かります。このことが、国語、算数の両教科とも、県・全国平均を上回る結果につながりました。今後も引き続き、一人一人の力をさらに伸ばすことができるように、子供たちの強みや弱みを学校と家庭で共有し、よりよい教育を進めていきたいと考えております。

5. 基山小学校の学力向上の取組方針

- 自己肯定感が高まる声掛けや、児童のがんばりを認める学習評価を行うことで「自ら学ぶ児童」を育成する学習指導を推進します。
- 一人一台端末等の ICT を活用した学力向上のための取組を推進します。
- 家庭学習の量や質を工夫することで、基礎基本の定着と活用力の向上を図ります。

6. 保護者の皆様へ（ご家庭での協力お願い）

以下のグラフは、「1日にするゲーム（テレビゲーム、スマートフォンなどを含む）の時間」と「各教科の正答率」を関連させたものです。



国語も算数も、ゲームの時間が短い子供の方が高い正答率になっています。この結果は、「ゲーム等の ICT 機器の長時間使用が、勉強のがんばりを無駄にしてしまう」とみることもできます。そこで、今後ますます普及してくる ICT 機器を適正に使用したり有効活用したりする能力が必要になってきます。

学校でも、タブレットを用いた学習を経験させることで、役に立つ ICT 機器の使用の仕方を学ばせていきます。ご家庭でも、今一度、「使い方のルール」をお子様とご確認いただき、お子様のがんばりを無駄にしない ICT 機器の使い方をさせていただきたいと思っております。